

6時間目
10月7日(火)
全校朝会

●前回の復習●

見返りを求めない考え方

些細な日常の中にある
「ありがたさ」

8名の皆さんからいろいろな意見が届きました

朝起きたら**当たり前のように**お母さんが朝ご飯を作ってくれてるということです。

学校には**仲のいい友達**がいたり、**信頼できる家族**がいたり。

今こうやって**健康に生きてること**だって幸せだから、**安心して生活**できることだと思います。

いつも笑えているのは、友達や家族、周りの環境
がいいからだと気づいた。戦争に巻き込まれてい
つも命の危機に脅かされている人は当たり前のよ
うに毎日笑って過ごせないから。笑えていること
にちゃんと感謝しようと思った。

家族や友達に恵まれたこと
仲間と学校生活を行っていること。

「家族がいる」「学校に行ける」「毎日ご飯が食べられる」などなど、たくさんの答えが出てくる。ただ、あまりにも多すぎるので、自分では閃かないようなこともきっとたくさんあるのだと思う。そう考えると、「全部を答えることができないくらいに『当たり前』が染み付いている社会に生きていること」が、実は「ありがたいこと」なのではないかと思った。（中略）自分の身の回りにこんなにも「当たり前」のことが溢れていること自体、「有り難いこと」ではないかと感じた。

●「本日の話」●

「パピコサンタ」 から学ぶこと

「自己犠牲」と「自己満足」は
どちらがうのかな？

ガストに続く新聞記事ネタ
2025年9月21日 朝日新聞から
(ある女性がSNSに投稿した出来事)

8月下旬の暑い朝、公園から子どもの
泣き声が...

3歳くらいの男の子をベビーカーに乗
せようと、お父さんが奮闘中

その姿を見かけた女性は、コンビニに
駆け込みミネラルウォーターと一緒に
購入したものが...

おなじみのアイス
「パピコ」

「今日も暑いですね」
「お子さんもお父さんも頑張ってますね」

木陰に移動を促し、ベビーカーに乗せるのを
手伝うと、すんなり乗ってくれました。

「こういうのあげても大丈夫ですか？」
「お姉ちゃんは『パピコサンタ』だよ」
半分を男の子、もう半分をお父さん

お父さんは、声をつまらせながら
「ありがとうございます」

「私も、お父さんも、君ががんばって
いるのわかっているからね」
と伝えて別れました

エピソードの最後に、
2つのことが書いてありました

① 最初に声を掛ける時に
意識して使わなかった言葉

「大丈夫ですか？」

「大丈夫ですか？」と声を掛けると
ほとんどの人が「大丈夫です」
と答えてしまう でも…

② 「自己満足」の範囲で助ける

『○○してあげる』

は「自己犠牲」

では「自己満足」とは？

誰かのためではなく
「自分のため」

「大丈夫？」

と聞いて

「大丈夫じゃない」

と答えた人だけに

「手を差し伸べてあげる？」

大丈夫そうに見えない人
を見かけたときに

こんなことをしてあげたい
と思った自分の気持ちを
行動に移す

☆本日の課題☆

◎今日の授業の中から、「自己犠牲」と「自己満足」はどう違うと感じたか、あなたの考えや感じたことを教えてください。

参考資料

朝日新聞 2025年9月21日の記事

「炎天下、パピコを受け取って泣き出した父親 3日後に語った涙のわけ」

Classroomで皆さんが感じたことやあらためて気づいたことを教えてください。

「令7年度 校長室と皆さんをつなぐ教室」(classroom)のストリームから「質問」に書き込みお願いします。

クラスルームの招待コードがわからない人は、担任の先生に聞くか、校長室の前の掲示プリントを確認しに来てください。